

委員会名	2024年度 第4回 生産技術委員会
開催日時	2024年 11月 1日 13:30-14:30
開催場所	東北大学青葉山キャンパス エコラボ大会議室 (Teams ハイブリッド開催)
出席者 (敬称略)	(現地) 山崎、椋平、飯野、巳波、矢島、池田、知識、中島、村上、荒木、根本、谷口 (オンライン) 久々宇、山田、中田、松山、菅井、船橋
議事	<p>1. 事務報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出光興産城戸氏が生産技術委員会を退任した。(資料1) <p>2. 2025年春季講演会のシンポジウム対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム小委員会で議論された2025年度春季講演会シンポジウムにむけた方針について、山崎委員が説明した。来年度春季シンポジウムでのCCS委員会は作井技術委員会との共同開催となり、生産技術委員会との共催ではないことになった。ただし、これまで通り生産技術委員会の中でCCSをテーマとして扱うことは可能。地下水学会との共催は実施しないことになったが、生産技術委員会シンポジウムの中でテーマと別枠として講演いただく可能性がある。地下水学会での最終決定は12月中旬になる見込みだが、生産技術委員会は単独開催をベースに準備を進める。 ・委員アンケート結果から生産技術委員会シンポジウムのテーマは人材育成、低負荷開発、既存開発の3つを中心に挙がっていた。開催形態は必ずしもパネルディスカッションでもなくとも良いのではないかという意見も半数程度ありテーマ次第とも考えられる。(資料4) ・今回出た意見を基に、シンポジウム小委員会で各企業からの発表アイデアの吸い上げの方針について改めてアナウンスする。 <p>Q&A</p> <p>(村上委員長) 3つのテーマを含める形で広く捉えられるテーマがよいのではないか。</p> <p>(山崎委員) 3つのテーマを含める形とすれば事業会社の取組紹介や大学教授からの見解も含めることができる。アンケート意見のように人材リソース会社や学生から人材について講演してもらうことやJAPTから人材関連の取り組み等の話をしてもらうのも面白いかもしれない。</p> <p>(知識委員) 学生が聞きたいなというテーマを話してもらうのは良いと思われる。テーマの中に「石油ガス開発」という言葉をはっきり入れた方が良いと思う。</p> <p>(飯野委員) いくつかのテーマを複合する形にしてもらえると各企業は講演ネタを提案しやすいと思う。低負荷開発に絞ると話題を提供しにくい可能性がある。</p> <p>(矢島委員) 人材をテーマにする場合は論文化しにくいと思うので、テーマを広げる場合は論文を免除するのか</p> <p>→ (知識委員) 過去にもテーマによっては論文化していないものがあるので、そこはあまり心配しなくてもよいと思う。</p> <p>(矢島委員) 社内で講演候補を考える際は3つのテーマを網羅的に話せるマネジメントの方にするのか、1つのテーマに絞るのかどちらを考えるのか。</p> <p>→ (村上委員長) まずはどちらの可能性も探って社内で候補を検討するので良いと思う。</p> <p>3. 幹事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識委員より、幹事会議事概要(第89期6回および第7回)が報告された。 ・内容は第89期第6回幹事会議事資料_20240911.pdfおよび第89期第7回幹事会議事議事録(案).docx(資料2)を参照のこと。

4. 理事会報告
- ・村上委員長より、理事会での議事を報告した。
 - ・内容は石油技術協会_第4回理事会資料_R1_20241024.pdf（資料3）を参照のこと。

5. 次回開催場所案内
- ・次回は12月6日に秋田大学にて委員会開催予定。
 - ・協会の紹介、および、各社の活動紹介を行う（各社5~8分程度）。

	2024		2023
第1回	5月9日(木)	JOGMEC	JOGMEC
第2回	7月4日(木)	INPEX	INPEX
第3回	9月5日(木)	JX	JX
第4回	11月1日(金)	東北大学	九州大学
第5回	12月6日(金)	秋田大学	京都大学
第6回	1月9日(木)	JOE	出光
第7回	3月6日(木)	JAPEX	JAPEX

6. 話題提供
- 東北大学学生による研究紹介
- ① 実坑井のコアを用いた地殻応力評価に関する研究
 - ② せん断増粘流体を用いた水圧破碎の個別要素法シミュレーション

以上

委 員 会 報 告 書